

# 平成31年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	国語表現	単位数	1	履修学年・クラス	2ABC
担当者		使用教材	第一学習社「国語表現」・新総合図説国語・国語辞典・1日10分言語力ドリル読む・口語文法とことばの基礎知識				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語で適切に表現する能力を身につけ、伝え合う力を高める。</li> <li>○ 実際に文章を書くことで、相手の立場に立つて効果的な表現を考え、言語感覚を磨く。</li> <li>○ 他者の発言に耳を傾け、内容を理解するとともに、進んで表現し社会生活を充実させる態度を育てる。</li> </ul>						
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の意見や考えを話したり書いたりし、適切に伝えます。</li> <li>○ 自由な発想による表現活動を通して、表現することに親しみます。</li> <li>○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の基礎となる事柄を理解し、表現全般に通じる基礎的な方法を身に付けます。</li> </ul>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。				
	能	話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。				
	能	書く能力	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。				
	知	知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期中間	写真からストーリーを創る	・5枚の写真を見てその情景を想像し、自己独自の物語を作る。 ・表現することの楽しさを理解する。	○	○	○	○	○	関: 写真を自由に並べてその情景を適切に想像しようとし、楽しむ。 書: 写真を見てその情景を想像し、独自のストーリーを書くことが出来る。 知: 自分が想像した情景を適切に表現するために必要な表現技法を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	写真に五七五を付ける	・写真を見てその情景を想像する。 ・想像したことを、五七五で表現する。	○	○	○	○	○	関: 五七五を読み、評価し合うことにより、表現することへの意欲を高めようとしている。 書: 写真から想像したことを、五七五の形式で書くことが出来る。 知: 作品例が写真のどのような内容を表現しているかを理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
前期末	誕生月の詩を選ぶ	・自分の誕生月のイメージにあった詩を、既成の詩や歌詞などから選んだり、創作したりする。 ・その詩を選んだ理由を書く。	○	○	○	○	○	関: 自分の誕生月のイメージに合った詩を積極的に探さ、創作している。 書: その詩を選んだ理由について文章を書くことが出来る。 知: 自分の誕生月のイメージを詩で表現したり、選んだ詩について選んだ理由を表現したりするための技法を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	文章を書く意味	・人類の歴史の中で、文字や文章が誕生してきた過程を理解する。 ・文章を書く意味について考える。	○	○	○	○	○	関: 分かりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 書: 人類の歴史の中で、文字や言葉、文章が生まれた過程を把握している。 知: 全文を正しく音読でき、古代の文字の種類を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	文章の書き方	・文章の基本的な書き方を理解し、実際に文章を書く。 ・書き上げた文章を推敲して、より良いものにする。	○	○	○	○	○	関: 自分が書きたい題材を選び、その題材に適した構成で適切に表現しようとしている。 書: 書いた文章を推敲することが出来る。 知: 文章の基本的な書き方を理解し、推敲することが出来る。	行動の観察 記述の確認 考査
	わかりやすい表現	・意味の分かりにくい文について、なぜ分かりにくくなっているのかを理解する。 ・意味の分かりにくい文を分かりやすく習性する。	○	○	○	○	○	関: 意味の分かりにくい文について、どうして意味が分かりにくくなっているのか指摘しようとしている。 書: 意味の分かりにくい文について、分かりやすく修正することが出来る。 知: 文の意味が分かりにくくなる要因にはどのようなものがあるか理解している。	行動の観察 記述の確認 考査

後期中間	表現の工夫	・表現技法とその表現効果について理解する。 ・表現を工夫して文章を書く姿勢を身に付ける。	○	○	○	○	○	関: 表現の仕方を工夫して文章を書くようしている。 書: 表現技法を用いて、文章を書くことが出来る。 知: 表現技法の表現効果について理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	描写の方法	・描写の意義と方法について理解する。 ・風景や人物、できごとを描写する文章を書く。	○	○	○	○	○	関: 描写を工夫して文章を書くようしている。 書: 風景や人物、出来事について、的確な描写の文章を書くことが出来る。 知: 描写の効果及び留意点について理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	「言葉にする」ことから始めよう	・自分の考えを言葉にすることの重要性について理解する。 ・自分の考えを言葉にする方法について理解する。	○	○	○	○	○	関: 筆者の述べるブレインストーミングの方法を踏まえ、自分の表現活動に生かそうとしている。 話: 筆者の述べるブレインストーミングの方法と効用を整理することが出来る。 知: 筆者の述べるブレインストーミングの方法と効用を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	相手理解は聞くことから	・日常会話における「聞くこと」の効用について考える。 ・「相手理解は聞くことからしか生まれない」ということについて話し合い、自分の聞き方を顧みる。	○	○	○	○	○	関: 聞くことの重要性を理解し、自分の聞き方に生かそうとしている。 話: 筆者の意見について、自分の体験を元に話し合うことが出来る。 知: 筆者の述べる「目的のある会話を上手に進めるためのアドバイス」を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
後期末	メールか手紙か	・「宝物」となる手紙はどのようなものかを考える。 ・引用された手紙の優れている点を読み取り、自分の表現に役立てる。 ・手紙とメールの長所について話し合う。	○	○	○	○	○	関: 自分が今までもらった手紙の中で、「宝物」となったものについて考えている。 話: 手紙とメールの長所について、自分の意見を的確に述べたり、他の人の意見を的確に聞き取ったりすることが出来る。 知: 手紙やメールなどの各通信手段の長所や短所を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	手紙を書く	・手紙の価値と必要性、手紙の形式を理解する。 ・手紙の形式をふまえて、実用的な手紙を書く。	○	○	○	○	○	関: 実用的な手紙を書くことに対して関心を持っている。 書: 手紙の形式を理解し、実用的な手紙を書くことが出来る。 知: 手紙の価値と必要性、基本的な書き方を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	紹介文・宣伝文を書く	・紹介文・宣伝文の必要性を理解する。 ・留意点を踏まえて、紹介文を書く。 ・書いた文章を元に発表する。	○	○	○	○	○	関: 聞き手に分かりやすい発表になるように準備している。 話: 他の人の発表内容を的確に聞き取ることが出来る。 書: 紹介文・宣伝文の書き方に沿って書くことが出来る。 知: 紹介文・宣伝文の書き方、口頭での勧誘や紹介を行う際の留意点を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査
	パンフレットを作る	・主体的に情報を発信することの必要性を理解する。 ・留意点を踏まえてパンフレットを作り、いろいろな人と情報を交換する。	○	○	○	○	○	関: 自分が伝えたい情報が、わかりやすく伝わるよう十分な準備・工夫をしている。 書: パンフレットの書き方に沿って、説明文を書くことが出来る。 知: パンフレットを作成する手順を理解している。	行動の観察 記述の確認 考査